

檜山地域の公共交通の実態把握に向けたアンケート調査結果報告書

本報告書は、北海道檜山振興局が調査した内容に、各町地域公共交通活性化協議会提供データを加えて作成。

<調査概要>

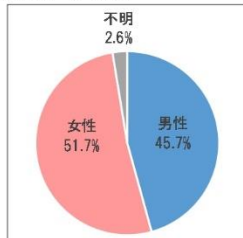
町名	実施主体	実施時期	調査対象	調査世帯数	調査票配布枚数	回答数	回答率	ページ
江差町	町地域公共交通活性化協議会 (日本データサービス㈱委託)	R4.2	無作為抽出世帯 (15歳以上の町民)	1,700	3,400	855	25.1%	P1～5
上ノ国町	北海道檜山振興局	R4.5-6	無作為抽出世帯 (15歳以上の町民)	800	1,600	252	15.8%	P6～10
厚沢部町	北海道檜山振興局	R4.5-6	全世帯 (15歳以上の町民)	1,616	1,616	320	19.8%	P11～15
乙部町	町地域公共交通協議会 (日本データサービス㈱委託)	R3.9	無作為抽出世帯 (15歳以上の町民)	1,742	3,484	1,118	32.1%	P16～20
奥尻町	(広域路線がないため、北海道檜山振興局では未実施)							
今金町	町地域公共交通活性化協議会 (日本データサービス㈱委託)	R3.9	無作為抽出世帯 (15歳以上の町民)	1,370	2,740	926	33.8%	P21～25
せたな町	北海道檜山振興局	R4.5-6	全世帯 (15歳以上の町民)	3,560	3,560	353	9.9%	P26～30
合計				10,788	16,400	3,824	23.3%	

北海道檜山振興局

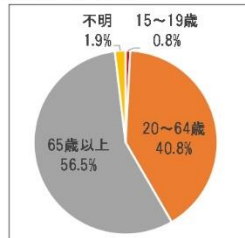
1 江差町

(1)回答者属性

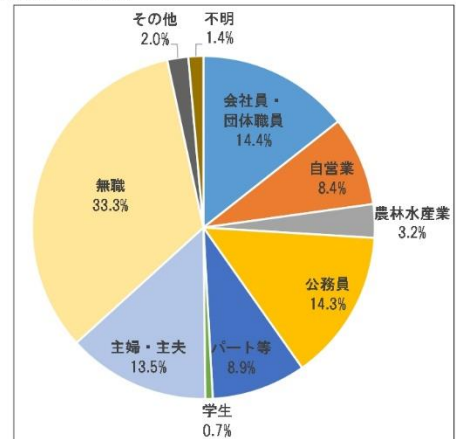
<性別> (n=855)



<年齢> (n=855)



<職業> (n=855)



<運転免許の保有状況> (n=855)



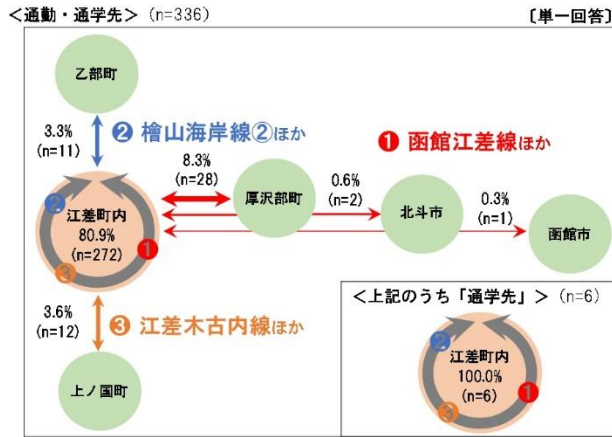
<自動車の保有状況> (n=855)



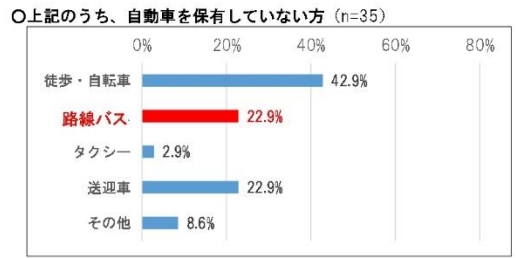
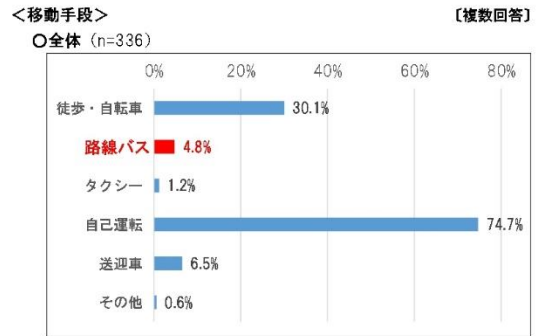
【江差町①】

— 1 —

(2) 通勤・通学



○通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次に厚沢部町への移動。
 ○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは4.8%。
 ○うち、自動車を持たない方では、路線バスが22.9%と、バスの利用割合が高くなる。

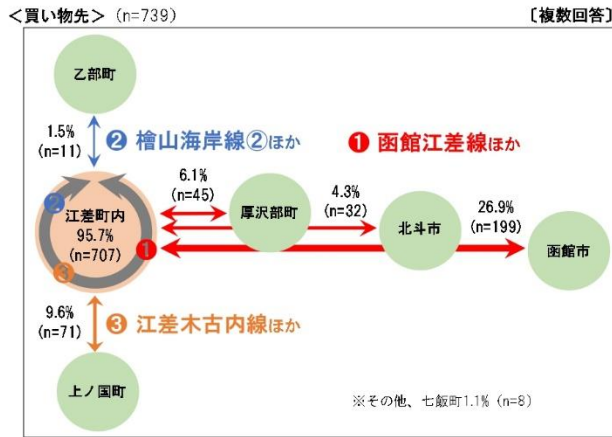


※うち、学生 (n=6) では、路線バスが33.3%。

【江差町②】

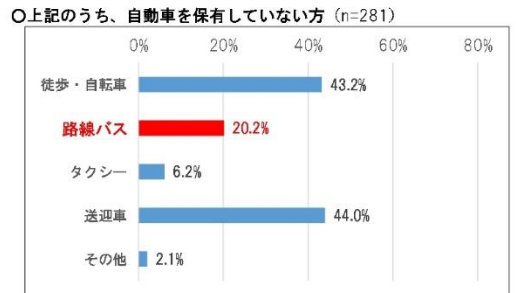
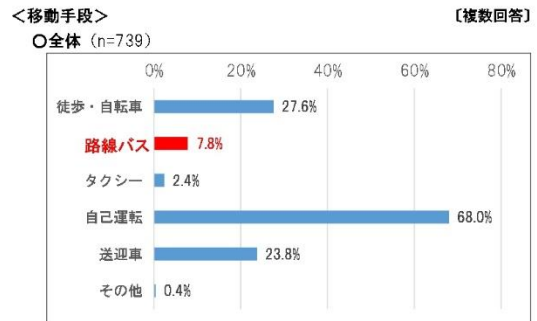
—2—

(3) 買い物



○買い物では、町内での移動が最も多く、次いで函館市への移動。
 ○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは7.8%。
 ○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが20.2%と、バスの利用割合が高くなる。

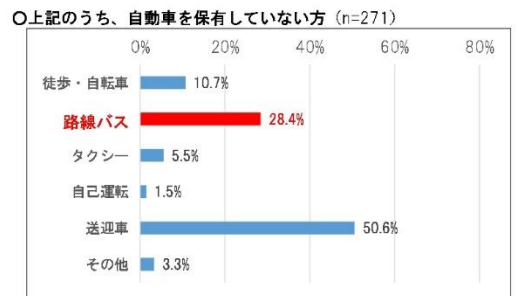
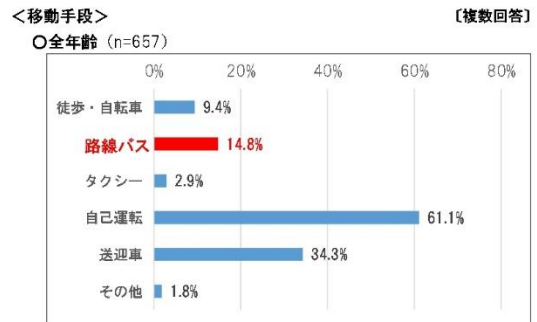
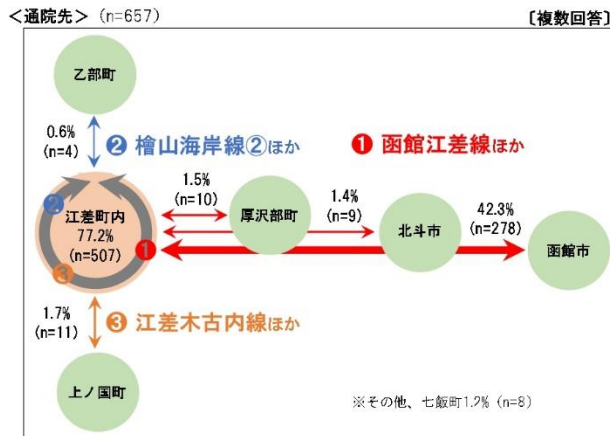
※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。



【江差町③】

—3—

(4)通院



○通院では、町内での移動が最も多く、次に函館市への移動。
 ○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは14.8%。
 ○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが28.4%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

【江差町④】

—4—

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 高齢者が運転免許を手放しても、あまり制約されず安心して暮らせるサービスを充実して欲しい。子の世代からしても、親が高齢で運転し続けるのは不安。【30代女性、公務員】
- 今のところはあまり困っていない。公共交通があれば良いが、今すぐは利用しない。【70代女性、無職】
- 交通手段に困ったら、公共交通を利用。【60代性別不明、パート・アルバイト】
- 運転ができなくなったとき、用事が足せる交通手段が必要、交通手段があることで安心したい。【60代女性、主婦】
- 自分はまだ運転できるので、公共交通は利用しないが、将来的には無理に運転せずに利用したい。【50代男性、公務員】

<通学生の移動手段の確保>

- バスの本数を増やして欲しい。【10代女性、学生】
- 江差高校への登下校における公共交通の充実を希望。【40代女性、パート・アルバイト】

<乗継・乗換環境の整備>

- 路線バスの到着が数分遅れて、新函館北斗駅でJRに乗り換えできなかった。乗換時間にゆとりが欲しい。【20代男性、会社員・団体職員】

<待合環境の整備>

- 風雪の強い江差では、特に冬の待ち時間が苦痛。覆いのないバス停はつらい。【70代女性・主婦】
- バス停に待合所がないので、冬は寒い。【70代女性・農林水産業】

<公共交通の情報提供・情報検索>

- 運行状況のインターネット検索は、学生なら良いが、老人にはこのサービスの利用は難しいと思う。【20代女性、会社員・団体職員】

<交通教育の充実>

- 小中学生は自力で買い物に行けないため、公共交通にもっと慣れ親しめる環境ができると良い。【40代女性、会社員・団体職員】

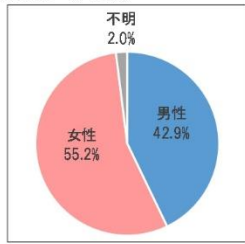
【江差町⑤】

—5—

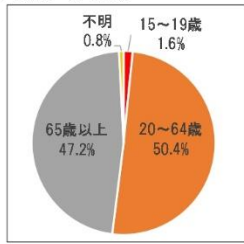
2 上ノ国町

(1) 回答者属性

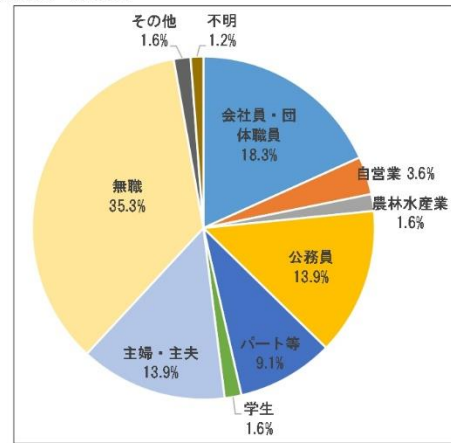
<性別> (n=252)



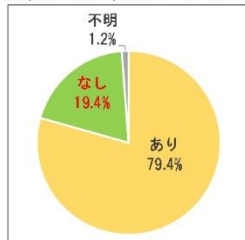
<年齢> (n=252)



<職業> (n=252)



<運転免許の保有状況> (n=252)



<自動車の保有状況> (n=252)

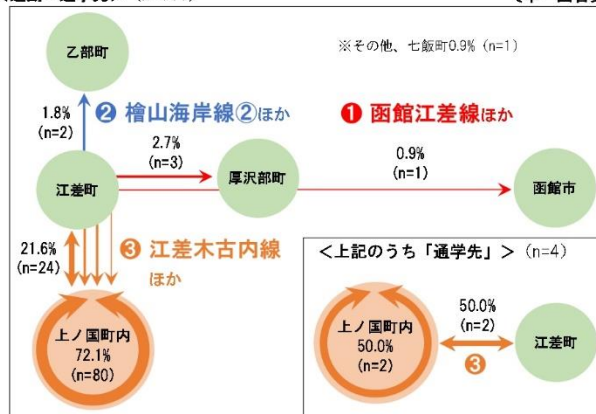


【上ノ国町①】

(2) 通勤・通学

<通勤・通学先> (n=111)

【単一回答】

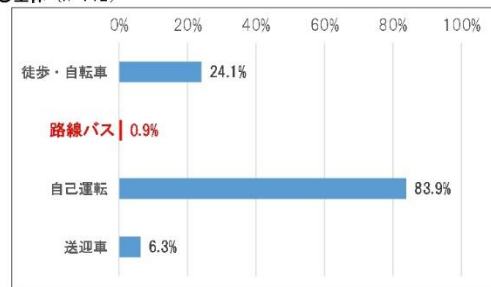


- 通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次いで江差町への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは0.9%。
- うち、自動車を持たない方では、路線バスの利用はない。

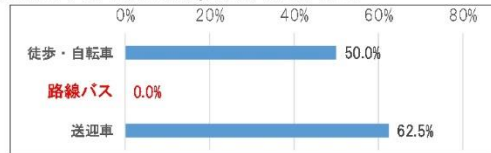
<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=112)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=8)

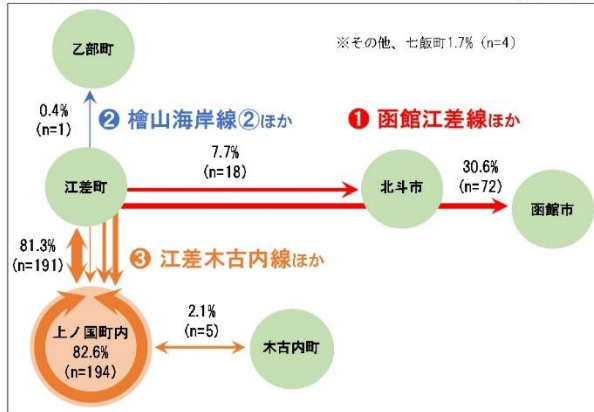


※うち、学生 (n=4) でも、路線バスはなし。

【上ノ国町②】

(3) 買い物

<買い物先> (n=235) [複数回答]

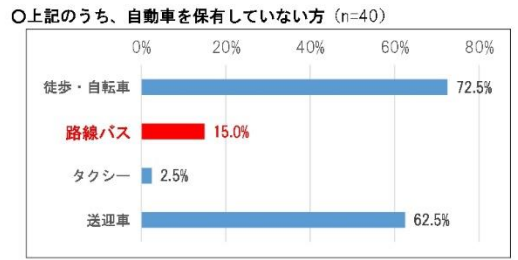
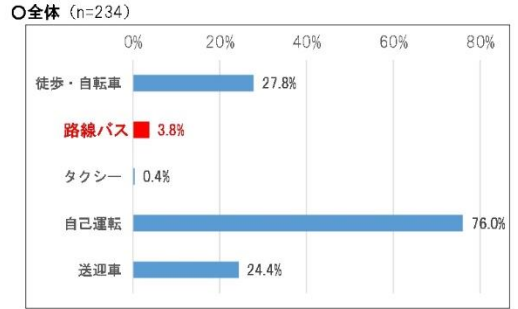


○買い物では、町内での移動が最も多く、次いで江差町への移動。
 ○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.8%。
 ○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが15.0%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

【上ノ国町③】

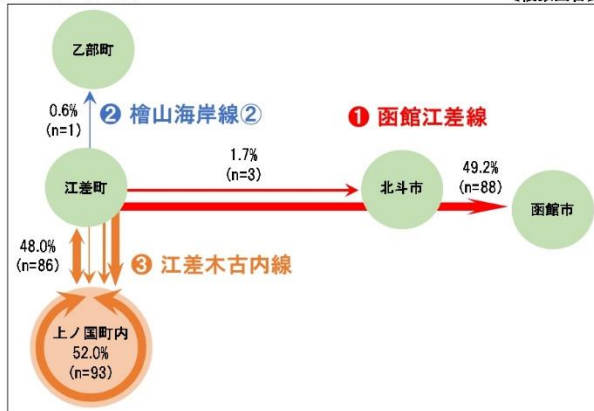
<移動手段> [複数回答]



— 8 —

(4) 通院

<通院先> (n=179) [複数回答]

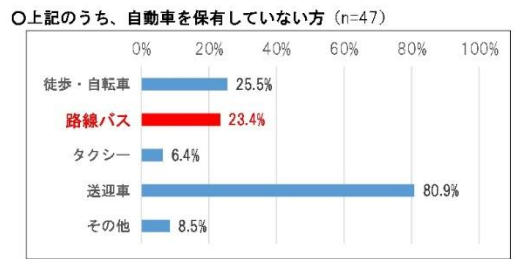
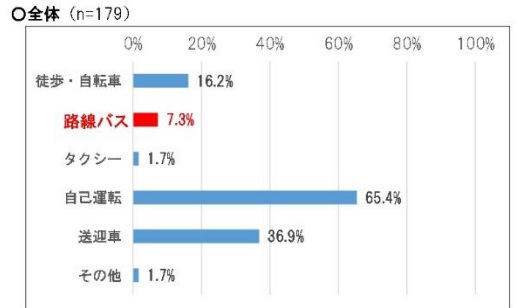


○通院では、町内での移動が最も多く、次いで函館市への移動。
 ○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは7.3%。
 ○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが23.4%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

【上ノ国町④】

<移動手段> [複数回答]



— 9 —

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 今は自分で運転して出かけているが、数年後に車を手放す予定で、頼る人もいないので不安。【70代女性、無職】
- 今は運転できるので困っていないが、公共交通は利用者が少なく、今後、本数も減らされると思われ、高齢になった時が不安。【40代女性、主婦】
- 今は公共交通を利用する機会はないが、年齢とともにお世話になると思われる。【60代男性、会社員・団体職員】
- 公共交通は、老後の生活においてなくてはならないもの。【40代女性、パート・アルバイト】
- 今は車を運転できるが、この先、買い物等にタクシーやバスを利用。この先が心配。【70代女性、主婦】

<通学生の移動手段の確保>

- 子供が路線バスを利用しているが、乗継ぎの待ち時間の長さなど、少々不便を感じる。【40代女性、パート・アルバイト】

<乗継・乗換環境の整備>

- 路線バスで木古内方面に行くが、本数の少なさと、列車の接続で困る。【50代男性、公務員】
- 大都市に行く路線バスの本数が少なくJRとの接続も悪い。大都市から地方へ行くのにも、接続する路線バスが少ない。【30代男性、公務員】
- 小砂子発と木古内発の路線バスの接続が悪い。【70代女性、パート・アルバイト】
- 運賃が高く、乗継ぎが良くない。【50代女性、公務員】

<公共交通の情報提供・情報検索>

- 上ノ国一函館間の路線バスの経路や時刻が分からなくて困る。【60代男性、その他】

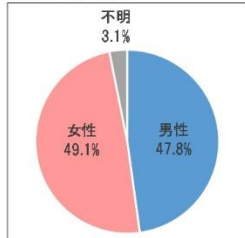
【上ノ国町⑤】

—10—

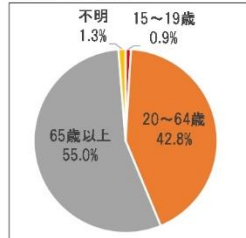
3 厚沢部町

(1)回答者属性

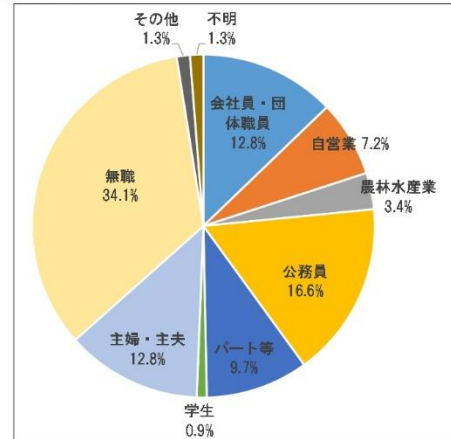
<性別> (n=252)



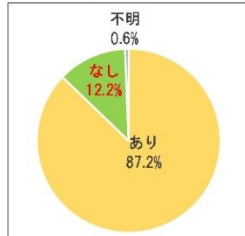
<年齢> (n=252)



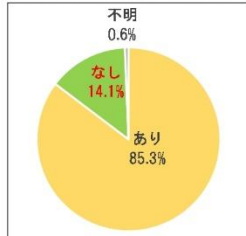
<職業> (n=252)



<運転免許の保有状況> (n=252)



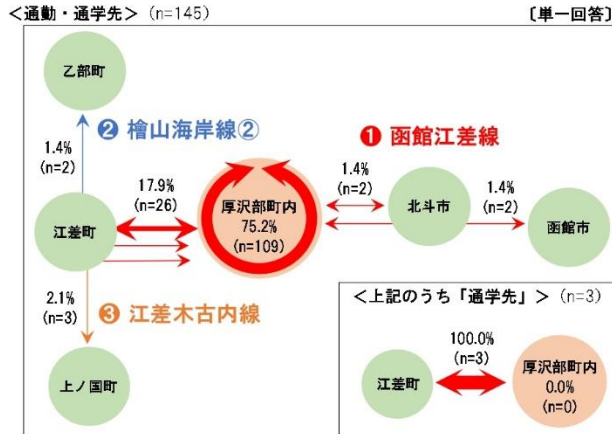
<自動車の保有状況> (n=252)



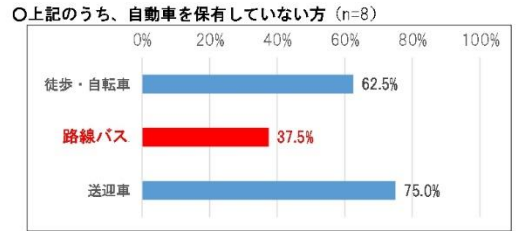
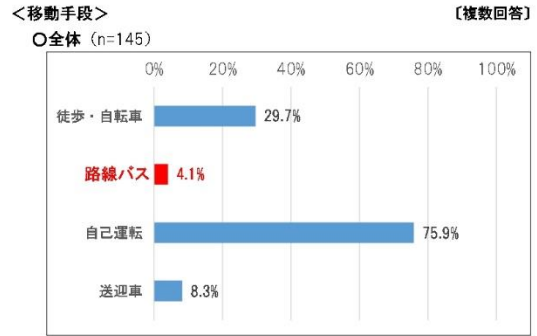
【厚沢部町①】

—11—

(2) 通勤・通学



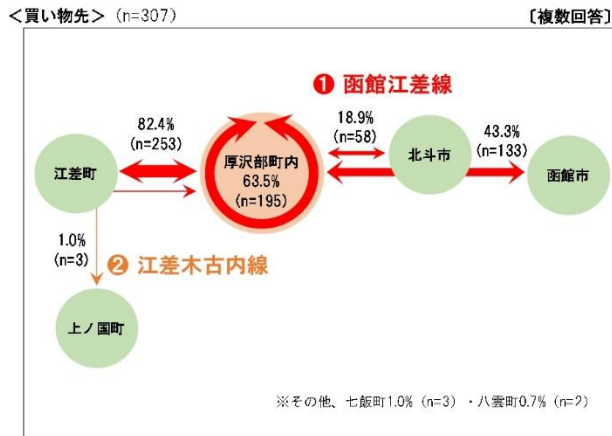
○通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次に江差町への移動。
○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは4.1%。
○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが37.5%と、バスの利用割合が高くなる。



【厚沢部町②】

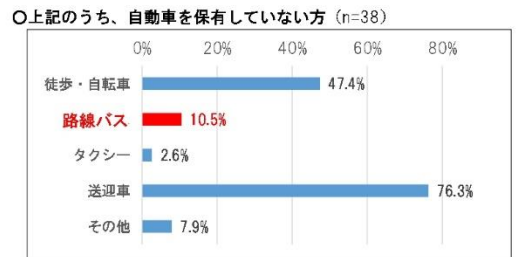
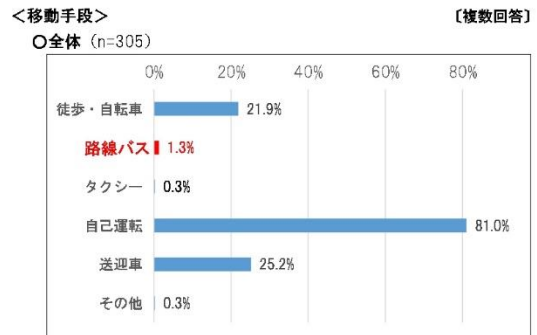
— 12 —

(3) 買い物



○買い物では、江差町への移動が最も多く、次いで町内での移動。
○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは1.3%。
○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが10.5%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持っていない」と回答したものの合計。

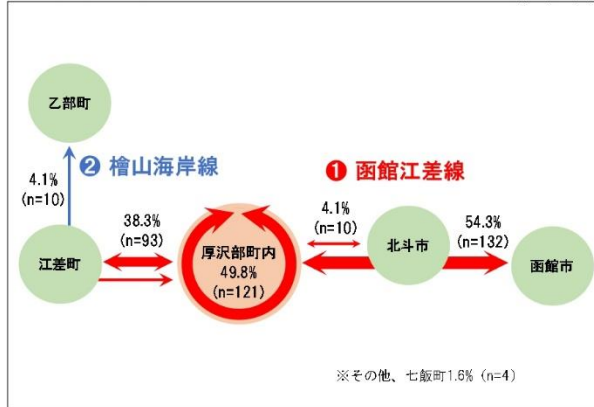


【厚沢部町③】

— 13 —

(4)通院

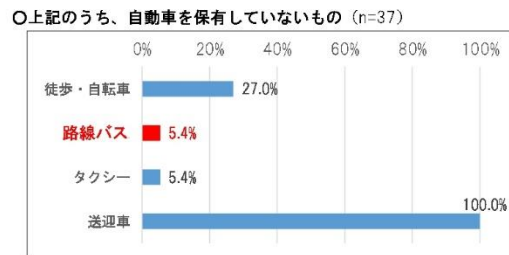
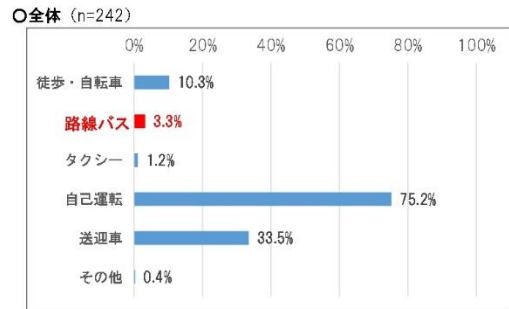
<通院先> (n=243) 【複数回答】



- 通院では、函館市への移動が最も多く、次いで町内での移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.3%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが5.4%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

<移動手段> 【複数回答】



【厚沢部町④】

— 14 —

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 高齢になり、車の運転ができなくなった時点で、公共交通は必要。【70代男性、無職】
- 老後、自分で運転できなくなった時に函館への通院が心配。路線バス等の公共交通を利用したいが本数が少なく不安。【50代女性、公務員】
- 高齢の両親が、年々運転が難しくなるのを身近で見ていて、自分の将来の生活が不安。【50代男性、会社員・団体職員】
- 買い物等の移動のため、75歳以上の高齢者へのバス・タクシー無料券を配布して欲しい。【70代男性、無職】
- 路線バスをときどき利用しているが、本数の少なさと時間の制約により、日常は車での移動が多い。今後、年齢を重ねると、公共交通に頼ることが多くなるが、どこまで期待できるか不安。【60代女性、無職】
- いずれ車の運転が困難になる時が訪れる。将来、通院等で公共交通に頼らざるを得ない。【70代男性、無職】
- 路線バスは、函館市内の各所に停まり、所要時間が増えて不便になったので、快速バスを運行して欲しい。【70代女性、無職】

<通学生の移動手段の確保>

- 路線バスの本数が少ない。特に、日祝日は1本しかないため、学校へ行く必要がある時は厳しい。【10代男性、学生】
- 高校生が路線バスを利用。定期券購入補助等があるとバスの利用が増えて、親の送迎の負担も軽減。【50代女性、会社員・団体職員】
- 以前、子供が江差高校へ通っていたが車で送迎。都合が合わない時は路線バスを利用。往復するとバス運賃が1,500円以上かかるため、家族や友人と都合を合わせて送迎せざるを得ない。運賃が3割ほど安ければ、気軽に路線バスを利用可能。【50代女性、会社員・団体職員】
- 高校生が部活等をしていると、帰りの路線バスの時間に間に合わず送迎が必要。ダイヤ等を検討して欲しい。【50代男性、自営業】

<乗継・乗換環境の整備>

- 乙部に行くには乗り継ぎが発生するが、待ち時間が長く、本数も少なく不便。バス停が寒く、図書館等で待っているが、17時には閉まってしまうので、その後は、寒空の下で1時間以上待つ。【30代女性、公務員】

【厚沢部町⑤】

— 15 —